

雪害・噴火

富良野市では暴風雪や噴火の被害が発生する可能性もあります。



雪害に注意！暴風雪に備える

- 気象情報に注意し、暴風雪が予想されるときは外出しない。
- 停電に備え、懐中電灯、ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、灯油、非常食、飲料水などを準備する。
- やむを得ず車で外出する際は、防寒具、スコップ、牽引ロープなどを準備し、十分に燃料を確保する。
- 給排気口付近が雪でふさがれないように注意する。



安全な除雪

- 家族や隣近所にも声をかけ、2人以上で作業する。
- 命綱やヘルメット、滑りにくい靴を着用し、携帯電話を持つ。
- 雪下ろしをする際は、建物のまわりに雪を残し、万一の転落に備える。



噴火に注意！十勝岳の噴火の危険を知る



- 1900年代にも3回噴火が発生しています。
 - 過去に起きた十勝岳の最大規模の噴火を想定した場合、富良野市にも積雪期に融雪型泥流※や火山灰の被害が発生する可能性があります。
- ※火砕流などの熱によって大量の雪解け水が発生し、土砂や岩石を巻き込みながら高速で流下する現象

十勝岳の噴火警戒レベルと対応

警報・予報		対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	対応	
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状況にある。	住民などの行動 危険な居住地域からの避難などが必要である。	
			4 高齢者避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。(可能性が高まってきている)	住民などの行動 警戒が必要な居住地域での要配慮者の避難、住民の避難準備などが必要である。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予測される。	住民などの行動 住民は通常の生活(今後の火山活動の規模に注意)。状況に応じて要配慮者の避難準備などを行う。	登山者・入山者への対応 登山禁止・入山規制など危険な地域への入山規制などを行う。
		火口内等	2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予測される。	登山者・入山者への対応 火口周辺への立入規制などを行う。	
予報	噴火予報	火口内等	1 活火山であることに留意	噴火活動は静穏。噴火活動の状況によって、火口内での火山灰の噴出などが見られる。(この範囲に入った場合には生命の危険が及ぶ)	登山者・入山者への対応 特になし。	

防災情報 まちの

停電は地震・暴風・風水害・大雪・落雷などで起きることがあります。2018年の北海道胆振東部地震の際には、苫東火力発電所が緊急停止するなどした影響で、全道全域の約295万戸が停電しました。停電発生に備え、懐中電灯やラジオなど、非常用持出品の置き場所を決めておくとともに、冬場に備え、防寒具やポータブルストーブ(電池式)などの寒さ対策も行いましょう。

Topics

いざというときのために 命を守るための避難行動を考えましょう

＝避難する場合のポイント

危険な状況の中での避難行動はできるだけ避け、安全確保を第一に考えることが大切です。指定された避難所等への避難だけでなく、安全であれば、自宅の安全な場所や知友人宅への避難なども検討しましょう。

- 普段から災害が起こった場合にどこに避難するか決めておく。
- 富良野市が指定した避難所等以外への避難も検討する。(市が指定する避難所等は、プライバシーが十分でなく、ストレスや疲労から体調を崩してしまうこともあるため、可能であれば自宅の安全な場所や親戚・知友人宅への避難を検討する。)
- 万が一逃げ遅れた場合は、水害や土砂災害の危険がある場合は、自宅の中でより安全な場所(2階など)や、近くの丈夫な建物の少しでも上の階へ避難する。



＝避難所生活での心得

避難所では、避難者同士が共同生活を送ることになります。ルールとマナーを守り、みんなで支え合いながら避難所生活を送ることが大切です。

- 身体の不自由な方や乳幼児のいる家族などへの配慮を心掛ける。
- エコノミークラス症候群を予防するため、こまめに体を動かし、十分な水分補給を行うことを心掛ける。
- 感染症予防対策をしっかりと行い、生活環境を衛生的にする。



＝感染症流行下での避難について

感染者数が増加する中で災害にあった場合、避難所を利用するべきなのか被災のリスクと感染のリスクとを天秤にかけ、判断をすることが重要です。安全が確保できるのなら避難所ではなく、自宅の安全な場所や親戚・知人宅への避難も検討しましょう。

- マスク・消毒液・体温計が不足している可能性があるため、自ら携行する。
- マスク着用、こまめな手洗い、咳エチケット等の基本的な感染対策を徹底する。
- 避難所では換気を心がけ、可能な限り、密閉・密集・密接の「3密」を避ける。
- 健康状態(体温など)を毎日確認する。



防災情報 まちの

大規模災害などで、市による避難所運営が困難な場合や避難所開設後、状況が落ち着いてきた場合には、避難者(住民)が主体となり、避難所運営を行うことになります。富良野市では、昨今の感染症対策を踏まえた「富良野市避難所運営マニュアル」を改定しました。このマニュアルは市のホームページで閲覧できます。
(<https://www.city.furano.hokkaido.jp/life/docs/2015022200138.html>)

